福岡市自閉症協会高機能自閉症・アスペルガー症候群部会「タンポポ」主催

タンポポ連続講座

タンポポ連続講座 ①

9 /30（金）

10:00 開始 12:00 終了

講師： 坂口美由紀先生　参加費：1，000円

（自閉症協会正会員の方は無料となります）

場所： ふくふくプラザ501研修室（定員63名）

本人告知と障がい表明

伝えるのか？・・いつ？・・どういう伝え方をするのか？　周りの人たちには伝えるのか？

ASDの子ども本人への障がいや特性の「告知」は、親にとって大きな課題です。悩んでおられる保護者も多いと思います。また、障害者差別禁止法により「合理的配慮」を受けるためには障がいを表明することが必要な場合もあります。でも、ちょっと待ってください！　まずは、子どもの気持ちや特性を理解し、安定した生活をおくることができるよう配慮することが大切です。この度、臨床心理士として発達障がいをもつ人たちの支援に深く携わってこられた、坂口美由紀先生を講師にお招きして、連続講座を行います。この機会に子どもとどういう視点で向き合うか、ご一緒に考えてみませんか？　皆様のご参加お待ちしております。

タンポポ連続講座 ②

10/28（金）

10:00 開始 12:00 終了

講師： 坂口美由紀先生　参加費：1，000円

（自閉症協会正会員の方は無料となります）

場所： ふくふくプラザ201会議室（定員63名）

本人告知後の特性の学習と自己理解

告知をしたら、それだけで本人が分かってくれるのでしょうか？

本当の自己理解が始まるのは告知後かもしれません。障がい名を知るだけではなく、個々で異なる特性や生活のさまざまな場面で、うまくいくための工夫を、理解、整理していく必要があります。定型発達との違いから、周囲とのつき合い方を知ることも必要です。告知後の支援について考えてみませんか？また、自閉症・発達障がいの支援方法はいろいろあって混乱しがちですよね。その全体像（どの部分にどういった理論や療法があるのか）を整理してお話ししていただく予定です。実際の支援では、優先順位を考え、いろいろな方法をその人に合わせて組み合わせることが大切だと言われていますが、保護者として、ぜひ知っておきたい内容です。ご参加をお待ちしています。

連続講座はひとつだけでも、両方でも受講できます。お申込みの際に明記してください。

お申込み方法は裏面にあります。

▼